

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	常勤スタッフの不足、パートスタッフの時間調整の難しさ等によって、その人らしい暮らしを実現することに支障がでてきている。土日祝日に入浴ができなかったり、行きたい時に散歩や買い物ができなかったり、スタッフの都合を優先させているところがある。	グループホームふじいさんちの存続を考えると、安定した常勤スタッフの確保が必須の目標。	スタッフ募集に一工夫し、今までとは違う形で認知症高齢者の方の介護の魅力、面白さを伝えるように取り組みを行う。ハローワークだけでなく、介護科や福祉関係の学校・機関等に出かけアピールし、若い方・熟年の方の人材確保に取り組む。	12ヶ月
2	36	短時間のパート職員が多くなる中で、外部の研修に行く時間を確保することが難しい。一人一人の尊重と誇りやプライバシーを損ねない日頃の言葉かけや対応については内部研修が必要。	不適切ケア—についてスタッフ全員が認識できるようにする。	既成のマニュアルではなく、スタッフ全員からふじいさんちのケアの現場での不適切ケアの事例を集め、手作りのマニュアルを作成し、それを基にスタッフ会等で話し合うように内部研修の取り組みを行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。